



七月使い

曹同宗の繪本山、永平寺でお参り

した時のお話。廊下の壁に書いてあつた言葉が忘れられませんか。それは、いつも神社仏閣で手を合わせる時、自分の幸を願う家族や友人のことを願いますが、永平寺の壁に書いてあつた言葉は、まさに胸を突かれた思いがしました。「祈るときは人のために祈りなさい」そう書いてあつた言葉です。いつも自分のために祈っていた自分が恥ずかしかつた。誰でも そうだと思えますが、純粹に人のためだけに祈っている人はいるのでしょいか？ そう思つた自分は間違つていたのでしょいか？ この話5年ほど前にエッセイで書いた事なのですが、これから言う事は私の本当の気持ちです。今でも私は考えを変えていないのです。それは「だから私は自分のために祈る」という事です。

「自分が生きてこそ、世のため、人のために貢献できるのだと 思うのです。自己犠牲の上で人を助けようとしたら、人助けは一度だけで終わってしまう。自分が生きてこそ、人のために長く貢献できる。そう考

える事が正しいと思つているからです」そのためにも決して無理はしない。できる範囲で人のために尽くす。自分にできる事をする。自分のできない事をしても人の役に立ってない。そういう意味ではないでしょうか。一隅を照らすという言葉もそういう意味ですね。そうする事で、永く人の役に立てる。続けられるだけ続ける事こそ尊いからです。自分ひとりの力なんて、微々たるものだと思います。その自分が、困つていてる人々すべてを救うなんて事は出来ないし、出来るわけがない。だから決して無理をしないでやれば良いと思えます。皆さん、なんだか肩の荷が下りたような気がしませんか？

さて、少し話題を変えますが、私は梅雨が好きだというお話。梅雨に関する表現で、その多くは蒸し暑い、ジメジメ、うっとおしい、なんて表現され、皆さんも嫌だなあとと思われるのではないでしょいか？ でも、私がなぜ好きなのかというと、乾燥し過ぎより湿気があつた方が過ごしやすく、歌う喉にもいいのです。蒸し暑くて嫌かというのと、そうでもなくて真夏の猛暑より涼しいですよ。自分の身に何を纏つて過ごす

かにもよりますから、梅雨の季節に合わせたお洒落をする。普段から気を使って、派手なカラーやシルエツトのウエアを纏い、ギターを抱えて皆さんの前に登場します。ファッションには、特別なこだわりがあつて楽しんでいきます。雨降りの日は、あんがい一日中降つているなんて事は、めつたになくて、雨が止んだら雨の止み間の空気、雰囲気、景色、そしてプロムナードが、私の大好きなお気に入りの時間です。雨が止んだ夕空を眺めて、時には虹が出てトワイライトの街の灯りに誘われ、私はネオンの光に吸い寄せられる。ファッションは、レインコートを小粋に、カサブランカのボギーを気取

つて、自分の世界のダンディズム。きつと、独りよがりと言われるでしょうが、自己満足ほど楽しい事は少ない。そういう自分が好きなんです。

令和3年7月 おもしろ記念日 7月の誕生石は【ルビー】

1 (木)	童謡の日	
2 (金)	たわしの日	
3 (土)	ソフトクリームの日	
4 (日)	梨の日	
5 (月)	ビキニスタイルの日	
6 (火)	零戦の日	
7 (水)	七夕	
8 (木)	質屋の日	
9 (金)	ジェットコースターの日	
10 (土)	ウルトラマンの日	
11 (日)	真珠記念日	
12 (月)	洋食器の日	
13 (火)	ナイスの日	
14 (水)	ペリー上陸記念日	
15 (木)	大阪港開港記念日	
16 (金)	駅弁記念日	
17 (土)	漫画の日	
18 (日)	光化学スモッグの日	
19 (月)	北壁の日	
20 (火)	月面着陸の日	
21 (水)	日本三景の日	

22 (木)	下駄の日	
23 (金)	海の日	
24 (土)	文月ふみの日	
25 (日)	スポーツの日	
26 (月)	河童忌	
27 (火)	かき氷の日	
28 (水)	幽霊の日	
29 (木)	スイカの日	
30 (金)	菜っ葉の日	
31 (土)	アマチュア無線の日	
	プロレス記念日	
	パラグライダー記念日	